

2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 5698 URL <https://www.envipro.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 文勝  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 竹川 直希 (TEL) 0544-21-3160  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	32,657	△13.6	2,163	152.1	2,422	144.4	1,664	62.9
2025年6月期第3四半期	37,787	△2.5	857	△17.5	991	△25.7	1,021	4.6

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 1,670百万円( 79.1%) 2025年6月期第3四半期 933百万円( △8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	58.51	56.26
2025年6月期第3四半期	33.78	32.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	33,126	18,410	54.4
2025年6月期	31,299	17,309	54.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 18,031百万円 2025年6月期 16,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	43,000	△12.4	2,300	136.5	2,600	113.8	1,800	53.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 一 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年6月期3Q	30,317,388株	2025年6月期	30,317,388株
2026年6月期3Q	1,816,860株	2025年6月期	1,661,184株
2026年6月期3Q	28,448,039株	2025年6月期3Q	30,248,858株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業領域においては、各国が経済安全保障の観点から重要鉱物を戦略的に位置づけ、資源の囲い込みが一段と加速しております。特に当第3四半期会計期間においては、イラン情勢をめぐる中東地域の地政学リスクが一段と緊迫化し、原油価格の高騰や物流ルートの不安定化を招いたほか、投資家のリスク回避姿勢が強まるなど、資源市況全体に強い不透明感をもたらしました。このような状況において、我が国においても供給網の強靱化に向けた資源循環の重要性が一段と高まっております。

各市況につきましては、鉄スクラップ価格は、中国国内の鋼材需要低迷に伴う安価な半製品の輸出増加がアジア市況を圧迫したものの、為替相場が引き続き円安水準で推移したことが輸出価格の下支え要因となり、底堅く推移しました。非鉄金属・貴金属相場は、イラン情勢をはじめとする地政学リスクや各国の金融政策を背景とした投機的資金の流入に加え、世界的な供給懸念が顕在化しました。その結果、当第3四半期会計期間においても銅や金・銀などの価格が史上最高値を更新するなど、歴史的な高値圏で推移しました。リチウムイオン電池の主原料については、ニッケル価格はこれまでの供給過剰が和らぎ底堅く推移したほか、リチウム及びコバルト価格は供給制約を背景に上昇に転じました。

このような環境下で、当第3四半期連結累計期間においては、当社グループが強みとしてきた独自の選別技術を更に深化させ、社会的に不可欠かつ高付加価値品の回収を強化し、将来に向けた準備を着実に進めつつあります。さらに、継続的に取り組んできた構造改革の成果が徐々に顕在化し、収益性の改善に寄与しました。これらの取り組みにより、主要なセグメントにおいて増益を達成しました。

今後とも「サーキュラーエコノミー（CE）をリードする」という戦略コンセプトのもと、CEの具体的事例の実現に向けて事業を推進するとともに、価値の提供方法を多様化することで、資源価格の変動に左右されにくい事業体質を築いてまいります。

以上の結果、売上高は32,657百万円（前年同期比13.6%減）、営業利益は2,163百万円（前年同期比152.1%増）、経常利益は2,422百万円（前年同期比144.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,664百万円（前年同期比62.9%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

## セグメント別業績の概要

## 《売上高》

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減比
資源循環事業	15,804	17,003	7.6%
グローバルトレーディング事業	24,372	18,384	△24.6%
リチウムイオン電池リサイクル事業	1,212	1,773	46.2%
その他	390	355	△9.1%
調整額	△3,993	△4,859	—
合 計	37,787	32,657	△13.6%

## 《セグメント利益》

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減比
資源循環事業	912	1,736	90.4%
グローバルトレーディング事業	192	487	153.4%
リチウムイオン電池リサイクル事業	158	491	210.8%
その他	93	49	△47.5%
調整額	△365	△343	—
合 計	991	2,422	144.4%

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## ①資源循環事業

主要金属価格が引き続き上昇傾向で推移したことを追い風に、当社グループが強みとする独自の選別技術を更に深化させ、高付加価値品の回収・販売を強化したことが収益性を押し上げました。ゴム関連事業においては、組織再編等の構造改革の成果が着実に顕在化し、取引条件の適正化が進んだことに加え、受注も好調に推移しました。

以上の結果、資源循環事業の売上高は17,003百万円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益は1,736百万円（前年同期比90.4%増）となりました。

## ②グローバルトレーディング事業

物流代行サービスにおいては、需給バランスを見極め、適正価格でサービスを提供したことにより、概ね堅調に推移しました。一方、2月28日に発生したイランによる軍事的措置に伴うホルムズ海峡の事実上の封鎖を受け、ドバイ向けの貨物に影響が生じました。金属原料のトレーディング事業では、取引形態の変更に伴う収益認識基準の適用により、形式上は大幅な減収となりました。しかしながら、構造改革の成果が徐々に顕在化する中、新たな販路及び商材の開拓と利幅（スプレッド）の改善により収益性は大きく向上し、大幅な増益を達成しました。

以上の結果、グローバルトレーディング事業の売上高は18,384百万円（前年同期比24.6%減）、セグメント利益は487百万円（前年同期比153.4%増）となりました。

## ③リチウムイオン電池リサイクル事業

電池材料に用いられるリチウム、コバルト及びニッケル相場が引き続き上昇基調で推移したことに加え、加工受託案件を中心に取扱量が増加したことにより、前年同期比で増収増益となりました。今後も国内シェア拡大を目指すとともに、将来の成長に向けた設備投資を積極的に推進してまいります。

以上の結果、リチウムイオン電池リサイクル事業の売上高は1,773百万円（前年同期比46.2%増）、セグメント利益は491百万円（前年同期比210.8%増）となりました。

## ④その他

障がい福祉サービス事業は、登録利用者の減少等により減収減益となりました。また、サステナビリティコンサルティング事業においても、受注の減少により減収減益となりました。

以上の結果、その他事業の売上高は355百万円（前年同期比9.1%減）、セグメント利益は49百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は33,126百万円（前連結会計年度末比1,827百万円の増加、5.8%増）となりました。流動資産は17,514百万円（前連結会計年度末比1,639百万円の増加、10.3%増）となりました。これは、その他流動資産が176百万円減少したものの、現金及び預金が967百万円、商品及び製品が516百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が271百万円増加したこと等によります。固定資産は15,612百万円（前連結会計年度末比187百万円の増加、1.2%増）となりました。これは、建設仮勘定が230百万円、建物及び構築物が162百万円減少したものの、機械装置及び運搬具が294百万円、投資有価証券が277百万円増加したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は14,716百万円（前連結会計年度末比726百万円の増加、5.2%増）となりました。流動負債は9,709百万円（前連結会計年度末比980百万円の増加、11.2%増）となりました。これは、未払法人税等が379百万円、買掛金が315百万円、賞与引当金が191百万円増加したこと等によります。固定負債は5,006百万円（前連結会計年度末比253百万円の減少、4.8%減）となりました。これは、長期借入金が286百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は18,410百万円（前連結会計年度末比1,100百万円の増加、6.4%増）となりました。これは、自己株式の取得により83百万円減少したものの、利益剰余金が1,234百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想につきましては、2026年2月12日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」より変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,007,668	7,975,022
受取手形、売掛金及び契約資産	3,973,571	4,245,444
商品及び製品	3,249,531	3,766,208
仕掛品	96,671	94,608
原材料及び貯蔵品	674,419	733,773
その他	889,972	713,238
貸倒引当金	△17,311	△14,176
流動資産合計	15,874,523	17,514,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,634,433	8,689,739
減価償却累計額	△5,508,958	△5,726,945
建物及び構築物（純額）	3,125,474	2,962,794
機械装置及び運搬具	16,598,579	17,619,060
減価償却累計額	△13,383,207	△14,109,091
機械装置及び運搬具（純額）	3,215,372	3,509,969
土地	3,843,049	3,843,049
建設仮勘定	634,703	404,200
その他	1,004,593	1,035,511
減価償却累計額	△847,336	△867,723
その他（純額）	157,256	167,788
有形固定資産合計	10,975,856	10,887,802
無形固定資産		
のれん	20,314	17,908
その他	166,177	189,811
無形固定資産合計	186,491	207,719
投資その他の資産		
投資有価証券	3,705,560	3,983,248
出資金	17,093	9,330
繰延税金資産	448,089	424,965
その他	163,997	157,756
貸倒引当金	△72,207	△58,137
投資その他の資産合計	4,262,533	4,517,163
固定資産合計	15,424,880	15,612,685
資産合計	31,299,404	33,126,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,180,648	3,496,053
短期借入金	2,890,000	2,880,000
1年内返済予定の長期借入金	982,078	1,068,024
リース債務	86,749	94,880
未払法人税等	236,938	616,925
賞与引当金	108,676	300,283
その他	1,243,972	1,253,238
流動負債合計	8,729,063	9,709,407
固定負債		
長期借入金	3,649,178	3,362,466
リース債務	127,344	151,654
再評価に係る繰延税金負債	58,791	58,791
退職給付に係る負債	1,106,718	1,118,763
資産除去債務	191,860	192,177
その他	126,558	122,859
固定負債合計	5,260,451	5,006,711
負債合計	13,989,514	14,716,118
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,580,215	1,580,215
資本剰余金	2,022,925	1,997,298
利益剰余金	14,005,015	15,239,705
自己株式	△788,801	△872,522
株主資本合計	16,819,354	17,944,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,851	△5,369
土地再評価差額金	13,829	13,829
為替換算調整勘定	62,543	78,530
その他の包括利益累計額合計	79,224	86,990
新株予約権	318,899	287,900
非支配株主持分	92,410	91,098
純資産合計	17,309,889	18,410,686
負債純資産合計	31,299,404	33,126,805



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	37,787,450	32,657,499
売上原価	31,229,618	25,605,887
売上総利益	6,557,831	7,051,612
販売費及び一般管理費	5,699,860	4,888,480
営業利益	857,970	2,163,131
営業外収益		
受取利息	3,431	11,451
受取配当金	1,326	1,483
持分法による投資利益	283,415	370,164
受取賃貸料	20,719	28,298
その他	92,224	50,845
営業外収益合計	401,117	462,243
営業外費用		
支払利息	37,568	38,381
為替差損	167,721	108,709
減価償却費	32,175	38,045
その他	30,409	17,844
営業外費用合計	267,875	202,980
経常利益	991,213	2,422,394
特別利益		
固定資産売却益	13,811	6,293
投資有価証券売却益	10,517	25,916
受取保険金	319,792	11,298
国庫補助金	203,572	—
特別利益合計	547,693	43,508
特別損失		
固定資産除却損	2,449	8,260
固定資産売却損	456	—
固定資産圧縮損	204,339	—
特別損失合計	207,245	8,260
税金等調整前四半期純利益	1,331,660	2,457,641
法人税等	317,132	794,420
四半期純利益	1,014,527	1,663,221
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,296	△1,311
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,021,824	1,664,532

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,014,527	1,663,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,637	△8,221
為替換算調整勘定	△56,849	15,987
その他の包括利益合計	△81,486	7,766
四半期包括利益	933,041	1,670,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	941,414	1,672,298
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,296	△1,311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	資源循環	グローバル トレーディ ング	リチウムイ オン電池リ サイクル	計				
売上高								
鉄	1,757,351	16,982,619	—	18,739,970	—	18,739,970	—	18,739,970
非鉄金属	2,903,755	3,126,785	—	6,030,540	—	6,030,540	—	6,030,540
ゴム製品	4,603,516	65,797	—	4,669,313	—	4,669,313	—	4,669,313
物流代行	—	3,160,907	—	3,160,907	—	3,160,907	—	3,160,907
LIB関連	—	—	825,912	825,912	—	825,912	—	825,912
その他	3,157,213	826,017	—	3,983,231	377,573	4,360,805	—	4,360,805
顧客との契約から生じ る収益	12,421,837	24,162,126	825,912	37,409,876	377,573	37,787,450	—	37,787,450
外部顧客への売上高	12,421,837	24,162,126	825,912	37,409,876	377,573	37,787,450	—	37,787,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,382,857	210,744	386,968	3,980,570	13,142	3,993,712	△3,993,712	—
計	15,804,695	24,372,870	1,212,880	41,390,446	390,716	41,781,162	△3,993,712	37,787,450
セグメント利益	912,236	192,539	158,192	1,262,968	93,690	1,356,658	△365,445	991,213

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サステナビリティコンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△365,445千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	資源循環	グローバル トレーディ ング	リチウムイ オン電池リ サイクル	計				
売上高								
鉄	1,937,097	10,971,744	—	12,908,841	—	12,908,841	—	12,908,841
非鉄金属	3,597,399	4,052,960	—	7,650,360	—	7,650,360	—	7,650,360
ゴム製品	4,680,197	214,766	—	4,894,963	—	4,894,963	—	4,894,963
物流代行	—	2,312,445	—	2,312,445	—	2,312,445	—	2,312,445
LIB関連	—	—	1,126,333	1,126,333	—	1,126,333	—	1,126,333
その他	2,868,121	555,649	—	3,423,770	340,784	3,764,554	—	3,764,554
顧客との契約から生じ る収益	13,082,815	18,107,566	1,126,333	32,316,715	340,784	32,657,499	—	32,657,499
外部顧客への売上高	13,082,815	18,107,566	1,126,333	32,316,715	340,784	32,657,499	—	32,657,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,921,141	277,377	646,687	4,845,205	14,323	4,859,529	△4,859,529	—
計	17,003,957	18,384,943	1,773,020	37,161,921	355,107	37,517,029	△4,859,529	32,657,499
セグメント利益	1,736,832	487,901	491,729	2,716,463	49,191	2,765,654	△343,260	2,422,394

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サステナビリティコンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△343,260千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,033,737千円	1,045,395千円
のれんの償却額	2,405 "	2,405 "